2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名　株式会社 アイネット　　上場取引所　東
コード番号　9600　URL https://www.inet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役兼社長執行役員　(氏名) 坂井　満
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 財務本部長　(氏名) 内田　直克　TEL 045-682-0806

四半期報告書提出予定日　2022年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,905	10.4	323	7.2	360	1.7	215	△10.9
2022年3月期第1四半期	7,157	△2.5	301	△12.2	354	△4.1	241	462.0

(注) 包括利益　2023年3月期第1四半期　△16百万円　(△102.1%)　2022年3月期第1四半期　777百万円　(424.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	13.46	―
2022年3月期第1四半期	15.11	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,970	16,912	51.3
2022年3月期	33,503	17,304	51.6

(参考) 自己資本　2023年3月期第1四半期　16,912百万円　2022年3月期　17,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	―	23.50	―	23.50	47.00
2023年3月期	―				
2023年3月期(予想)		24.00	―	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	7.5	2,640	11.5	2,770	9.0	1,830	8.0	114.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料P．8「2．四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P．8「2．四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	16,242,424 株	2022年3月期	16,242,424 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	266,291 株	2022年3月期	266,281 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	15,976,133 株	2022年3月期1Q	15,976,150 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（追加情報） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策により抑制されていた経済活動が徐々に再開されており、サービス産業などを中心に景況感が好転する兆しを見せています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻、中国の新型コロナウイルスまん延防止に伴う物流の混乱などの悪影響により、エネルギー、鉱物資源、食料品などの物価は値上がりが相次ぎ、半導体不足なども解消されておらず、企業を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が属する情報サービス業界においては、企業の働き方改革や非接触対応等を目的とした業務効率化システムへの引き合いが活発化しております。加えて、「デジタルトランスフォーメーション（DX）」をテーマとした、クラウドコンピューティングの普及拡大、ビッグデータやAI（人工知能）の活用拡大、IoTの推進などの取り組みも継続していることから、当第１四半期連結累計期間においても、システム関連への投資は拡大傾向にあります。

このような経済環境のもと、システム開発が延期または中止に追い込まれていた前々期から前期にかけての状況は好転し、当社グループを取り巻く事業環境は改善しつつあります。当第１四半期連結累計期間は、主に、情報処理サービスにおける新規、既存顧客からの需要の取り込み、及びシステム開発サービスの案件増加により、当社グループの事業は堅調に推移することができました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は7,905百万円（前年同四半期比10.4％増）と好調に推移しました。利益面においては、電気料金等の高騰により厳しい環境下にある中、その他の原価、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益323百万円（同7.2％増）、経常利益360百万円（同1.7％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は215百万円（同10.9％減）となりました。

当第１四半期連結累計期間におけるサービス別売上高、売上総利益の状況は以下のとおりです。

［情報処理サービス］

既存顧客のみならず、新規顧客によるデータセンター利用が増加したこと、及び当社グループが強みを持つサービスステーションからの受託計算サービスが堅調に推移した結果、売上高は3,145百万円(前年同四半期比3.8％増)となりました。一方で、電気料金等の値上がりに伴う原価上昇により、売上総利益は620百万円(同14.5％減)となりました。

［システム開発サービス］

当社グループが以前より強みを持つ、金融業、流通業、通信業及び宇宙関連ビジネス向けのシステム開発が好調を維持し、売上高は4,455百万円(前年同四半期比13.8％増)となりました。また、同部門の開発体制を業種別に組みなおし、開発要員をより効率的に運用できるようにしたことから、売上総利益は928百万円(同18.4％増)となりました。

［システム機器販売］

システム開発の活発化に伴い、関連するシステム機器販売も順調に推移し、売上高は303百万円(前年同四半期比44.8％増)となりました。一方で、インフレに伴うシステム機器などの価格上昇の影響を受けたため、売上総利益は46百万円(同0.0％増)となりました。

サービス別売上高、売上総利益

		2022年３月期 第１四半期 累計期間	2023年３月期 第１四半期 累計期間	前年同四半期比	
				増減額	増減率
		百万円	百万円	百万円	%
情報処理サービス	売上高	3,031	3,145	114	3.8
	売上総利益	725	620	△105	△14.5
システム開発サービス	売上高	3,916	4,455	539	13.8
	売上総利益	783	928	144	18.4
システム機器販売	売上高	209	303	93	44.8
	売上総利益	46	46	0	0.0
合計	売上高	7,157	7,905	747	10.4
	売上総利益	1,556	1,595	39	2.5

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

	2022年３月期 第１四半期 累計期間		2023年３月期 第１四半期 累計期間		前年同四半期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
営業利益	301	4.2	323	4.1	21	7.2
経常利益	354	4.9	360	4.6	5	1.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	3.4	215	2.7	△26	△10.9

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は32,970百万円となり、前連結会計年度末比532百万円の減少となりました。その主な要因は「現金及び預金」の増加等があったものの、「受取手形、売掛金及び契約資産」（前連結会計年度末においては「受取手形」「売掛金」「契約資産」）及び「投資有価証券」が減少したこと等によるものであります。

なお、純資産は16,912百万円となり、自己資本比率は51.3％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年５月６日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2022年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2022年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,684,659	4,142,238
受取手形、売掛金及び契約資産	6,394,311	5,468,819
商品及び製品	179,768	211,463
仕掛品	83,557	145,793
原材料及び貯蔵品	66,432	59,898
その他	293,375	499,176
貸倒引当金	△473	△390
流動資産合計	10,701,631	10,526,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,390,018	10,143,432
土地	3,108,756	3,108,756
その他（純額）	1,732,900	1,842,329
有形固定資産合計	15,231,675	15,094,518
無形固定資産		
のれん	195,063	187,656
ソフトウエア	1,587,595	1,687,737
その他	50,956	50,860
無形固定資産合計	1,833,615	1,926,254
投資その他の資産		
投資有価証券	3,811,261	3,503,609
退職給付に係る資産	1,048,344	1,044,671
その他	905,165	902,917
貸倒引当金	△27,841	△27,989
投資その他の資産合計	5,736,929	5,423,208
固定資産合計	22,802,220	22,443,981
資産合計	33,503,851	32,970,980

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2022年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2022年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,695,714	1,277,303
短期借入金	3,065,848	4,522,958
未払法人税等	558,140	158,758
賞与引当金	916,833	523,232
工事損失引当金	27,590	19,694
独占禁止法関連損失引当金	19,366	－
その他	3,619,988	3,996,751
流動負債合計	9,903,482	10,498,699
固定負債		
長期借入金	5,858,070	5,207,758
退職給付に係る負債	500	500
資産除去債務	130,789	131,434
その他	306,591	220,218
固定負債合計	6,295,951	5,559,910
負債合計	16,199,433	16,058,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,203,992	3,203,992
資本剰余金	3,146,335	3,146,335
利益剰余金	10,576,788	10,416,354
自己株式	△314,986	△314,998
株主資本合計	16,612,129	16,451,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	686,469	461,801
退職給付に係る調整累計額	5,818	△1,113
その他の包括利益累計額合計	692,288	460,687
純資産合計	17,304,418	16,912,371
負債純資産合計	33,503,851	32,970,980

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）
売上高	7,157,700	7,905,611
売上原価	5,601,311	6,309,968
売上総利益	1,556,388	1,595,643
販売費及び一般管理費	1,254,852	1,272,503
営業利益	301,536	323,139
営業外収益		
受取利息	80	17
受取配当金	19,680	27,374
投資事業組合運用益	－	14,892
助成金収入	44,784	101
その他	3,872	7,280
営業外収益合計	68,419	49,666
営業外費用		
支払利息	12,111	10,722
持分法による投資損失	－	33
投資事業組合運用損	1,418	－
その他	2,180	1,812
営業外費用合計	15,711	12,568
経常利益	354,244	360,236
特別利益		
負ののれん発生益	28,076	－
投資有価証券売却益	4,563	－
特別利益合計	32,639	－
特別損失		
固定資産除却損	－	72
特別損失合計	－	72
税金等調整前四半期純利益	386,883	360,164
法人税等	145,455	145,159
四半期純利益	241,428	215,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,428	215,005

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）
四半期純利益	241,428	215,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	538,180	△224,668
退職給付に係る調整額	△2,507	△6,932
その他の包括利益合計	535,672	△231,601
四半期包括利益	777,101	△16,595
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	777,101	△16,595
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号　2021年６月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第１四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（四半期連結損益計算書）

前年同四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険解約返戻金」は金額的重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前年同四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前年同四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の「保険解約返戻金」に表示していた216千円は、「その他」として組み替えております。